

一般社団法人 日本応用地質学会
令和7年度第4回 応用地質学教育普及委員会 議事録

◆ 開催状況

日 時：2025(令和7)年11月10日(月) 15:00～17:00
場 所：学会事務局 & オンライン(Z) ハイブリッド会議
出 席：太田岳洋委員長、大谷晃副委員長、金山健太郎・法橋亮幹事、小俣雅志・佐々木和彦・清水公二・諏訪喬祐(Z)・情野隆・竹内真司(Z)・武田和久・戸邊勇人(Z)・西柳良平(Z)・原勝宏(Z)・東田優記(Z)・味野晴佳(Z) 各委員 16名
委任状：1名 大葉勝裕
委員会の成立：出席者16名+委任状1名=17名 ⇒過半数(9名)を超えたため成立
議事録作成担当：法橋幹事(グループ2)

◆ 配布資料

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 令和7年度第3回(2025.9.1)委員会議事録(案) | 資料-1 |
| 2. 合同資源見学会(2025.8.29)の実施報告 | 資料-2 |
| 3. 第12回入門講座-いすみ地点準備状況 | 資料-3 |
| 4. 第3回技術者倫理講習会の計画 | 資料-4 |
| 5. 令和8年度の入門講座 | 資料-5 |
| 6. 委員募集ポスター | 資料-6 |
| 7. HPの変更について | 資料-7 |

◆ 議事次第

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. 前回議事録の確認(報告・承認) | 戸邊委員 |
| 2. 合同資源見学会実施報告(報告・承認) | 法橋幹事 |
| 3. 第12回入門講座-いすみ地点準備状況(協議) | 佐々木委員 |
| 4. 第3回技術者倫理講習会の計画(報告) | 佐々木委員 |
| 5. 令和8年度の入門講座(協議) | 佐々木委員 |
| 6. 委員募集ポスター(報告) | 太田委員長 |
| 7. HPの変更について(協議) | 大谷副委員長 |
| 8. 次回委員会の予定 | |

◆ 議事内容

1. 前回議事録の確認【承認事項】 資料-1

- 資料-1を基に、前回委員会の議事録案について説明がなされ、一部口頭修正(資料-2の説明者の代読等)があった以外は、最終案とすることで承認された。最終版をNASに格納する。

2. 合同資源見学会実施報告(報告・承認) 資料-2

- 資料-2を基に、法橋幹事より資料の説明が行われた。
- 50代以上の参加者が多かった一方で、30代の参加者も予想以上に多く、年齢バランスの取れた有意義な研修であったと報告があった。
- 研修開催地(千葉県)の関係から、関東地方からの参加者が7割を超えていた。地方開催の検討など、今後の研修の課題である。
- (株)合同資源の担当者と良好な関係が築けており、次年度以降の継続開催についても問題ない旨報告があった。

- ・ 12月号の学会誌に掲載する内容について承認がなされた。ただし、学会誌ではモノクロ印刷となるため、図-1のアンケート結果は、モノクロ印刷で区別可能な凡例に変更する。

3. 第12回入門講座－いすみ地点準備状況（協議） 資料-3

- ・ **資料-3**を基に、佐々木委員より、これまでの準備・検討経緯、参加申し込み状況、収支、今後の流れなどについて説明が行われた。
- ・ 現地見（10/14～15の1泊2日）、オンライン打ち合わせ（10/25・11/6）の他、担当委員間で頻繁にメール協議を実施した。
- ・ オンライン学習（11/13は、法橋幹事、佐々木・武田・原・味野委員の5名が担当する）。
- ・ 現地研修（11/19～21）は、各班講師として法橋・金山幹事、清水・原・味野委員が、講師補佐・運営として佐々木・武田委員が担当する。
- ・ 専門部会はじめ当委員会以外からも講師の募集を行っていたが、希望者は現れず（募集締切後に1名から連絡があった）、企画段階から早めに募集を行うのが良いとの意見があった。
- ・ 現地テキストの引用資料については、佐々木委員が著者・出版社（共立出版・古今書院）に連絡を取り、掲載承認を得た。
- ・ CPD時間は18.32時間となる見込みで、GEO-NETへの登録は小俣委員が担当する。
- ・ 研修生33名、講師7名のちょうど40名で宿泊地（内浦山県民の森）の貸し切りができた。
- ・ 今回の入門講座では、新入会員の申し込みがなかった。賛助会員特例が増えると、新入会員や非会員申し込みの減少が起こることが懸念され、今後の課題である。
- ・ 現状の予想収支について理事会に口頭報告したうえで、研修後の収支確定後に、紙面にて詳細報告する。
- ・ 研修終了後、研修アンケート（上司アンケートを一つ取り入れる）、感想文をとりまとめ、開催報告を作成して学会誌2月号に掲載する予定とする。

4. 第3回技術者倫理講習会の計画（報告） 資料-4

- ・ **資料-3**を基に、佐々木委員より資料の説明が行われた。
- ・ 研修タイトルは、「令和7年度 技術者倫理講習会」とし、第3回などの回数表記はしない。
- ・ 12/12の研修は、太田委員長、小俣・清水委員が講師、佐々木委員が司会、金山幹事が事務局でZoom管理を担当する。本番前のリハーサル日程については、担当委員間で後日調整する。
- ・ 当日のアンケートは佐々木委員がグーグルフォームで作成する。
- ・ CPD時間は3.00時間で、GEO-NETへの登録と証明書の準備については小俣委員が担当する。
- ・ 11/28の申し込み期限に対し、11/6の16:30時点で30名の参加申し込みがある状況（昨年の申し込み者は100名強）。学会ニュースリストで、再度募集案内・周知を行う。
- ・ 清水委員が説明予定としていた一部の内容（エラー事例）については、建コン協からの使用許可を早々に得ることが難しい見込みのため、別バージョンの作成準備を進めたこととした（作成済みの資料については、建コン協からの承認が得られた、次年度以降の説明資料とする等、ストック材料とする）。

5. 令和8年度の入門講座（協議） 資料—5

- ・ 資料-5を基に、佐々木委員より資料の説明が行われた。
- ・ 令和7年度は、以下の企画を実施し、あるいは実施する予定である。
 - ・ 5月 第11回入門講座（小山ダム）
 - ・ 8月 合同資源見学会
 - ・ 11月 第12回入門講座（いすみ）
 - ・ 12月 技術者倫理講習会
- ・ 令和7年5月に実施した入門講座（小山ダム）については、令和8年度の実施も前提とし、メール審議しながら活動を始める。2月号での会告が必要となるため、12月中旬を目途として、佐々木委員が小山ダム事務所、マウントあかねに日程調整等の連絡を行うこととなった。
- ・ 令和7年8月に実施した合同資源見学会については、継続開催することも考えられるが、これに代わる研修案（大谷石見学、松代大本営、室内試験見学etc.）を各自検討して、次回委員会までに持ち出し協議する方針とした。
- ・ 令和7年11月中旬に実施予定の入門講座（いすみ地点）は、今年度の実施結果を踏まえて、次回委員会で実施の可否について協議することとした。
- ・ 令和7年12月に実施予定の技術者倫理講習会は、本年度で3回目の開催を迎える。5回開催までは毎年継続開催とすることで調整中である。

6. 委員募集ポスター（報告） 資料—6

- ・ 資料-6を基に、太田委員長より資料の説明が行われた。
- ・ 研修発表会でのポスター閲覧者の反応は不明だが、委員会の周知はできたと思われる。
- ・ 委員の応募期日は令和7年12月末日としていたが、常時募集を続けていくこととなった。
- ・ 中国支部や身近な技術者に声掛けを行い、委員の拡充を図る方針とした。
- ・ 情野委員（日本工営）の後任で安里さんが新規委員として加わる旨報告があった。委員会加入の書式を金山幹事から送付する。
- ・ 各社1～2年目の若手を委員に加入させてみては、という声も上がったが、現地研修・教育を担う立場として、中堅以上の技術者が委員を務める必要があるといった慎重な意見も聞かれた。
- ・ 次回の研究発表会では、応用地質学に携わる技術者のキャリアパスーたとえば、20台前半は入門講座、後半は実践講座に参加、30台では各委員会・部会に所属し、活躍の舞台を広げていくといったような展望ーをまとめることとした。

7. HPの変更について（協議） 資料—7

- ・ 資料-7を基に、大谷副委員長より資料の説明が行われた。
- ・ 当委員会の最近の活動状況として、入門講座の開催状況については、学会誌に掲載したオリジナル原稿のリンクを貼って、閲覧できるようにしてはどうかと提案があった。
- ・ 校正後の学会誌原稿（モノクロ）と委員会オリジナルの原稿（カラー）とで、多少の違いがあり、どの程度の齟齬までが許容可能なのか、編集委員会に確認する。
- ・ 上記問題がなければ、限りなく校正後に近い原稿で、カラーかつ明瞭なものをリンク付けする。

8. 次回委員会の予定について

- ・ 次回委員会の日程は下記のとおりとする。なお、配布資料の収集や議事次第作成は幹事が担当し、議事録作成はグループ1（大谷副委員長、情野・佐々木・味野委員のうちのいずれか）が担当する。

◆ 令和7年度 第5回委員会 2026(令和8年1月16日(金) 15:00～ 学会会議室& Web

以上 (作成：法橋)

【参考】

議事録作成担当 () 内は担当した年度・回

- ・ グループ1=情野(R5 第5回)・大谷・佐々木(R6 第3回)・味野(R7 第2回) ← 次回(R7 第5回)担当
- ・ グループ2=東田・大葉(R6 第4回)・諏訪(R6 第1回)・法橋(R7 第4回)
- ・ グループ3=武田(R6 第2回)・金山(R7 第1回)・戸邊(R7 第3回)・西柳